

2023

シラバス



第3学年

北海道遠別農業高等学校教務部

I N D E X

1	国語表現	・ ・ ・	1
2	政治・経済	・ ・ ・	5
3	数学A	・ ・ ・	9
4	体育	・ ・ ・	11
5	コミュニケーション英語Ⅰ	・ ・ ・	14
6	総合実習	・ ・ ・	17
7	農業情報処理	・ ・ ・	20
8	◆作物	・ ・ ・	22
9	◆野菜	・ ・ ・	25
10	◆草花	・ ・ ・	29
11	◆農業機械	・ ・ ・	32
12	◇食品製造	・ ・ ・	36
13	◇食品化学	・ ・ ・	40
14	◇微生物利用	・ ・ ・	44
15	農業経営	・ ・ ・	46
16	◆畜産基礎	・ ・ ・	49
17	◇商品開発	・ ・ ・	52
18	総合的な探究の時間	・ ・ ・	54

◆ 生産科学コース

◇ 食品科学コース

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
国語	国語表現	3	必修	3	岡崎 淳一

使用教科書	第一学習社 高等学校改訂版国語表現
使用副教材	いづな書店 新装版漢字トレーニング
科目の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
学習の到達目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を身につける。
学習の留意点	原則毎時間、漢字の小テストを実施する。
評価規準	【関心意欲態度】 文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
	【話す聞く能力】 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
	【書く能力】 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
	【知識理解】 言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を深めている。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 話：話す・聞く能力 書：書く能力 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	8	文章を書く意味 （轡田隆史）	【関】 文章を書くそもそもの意味について考え、今後の表現活動にどう生かすかを考えている。 【話】 人類の歴史の中で、文字や言葉、文章が生まれた過程を把握し、その上で書く意味について自分の意見が言える。 【知】 古代の文字にはどのようなものがあるか理解している。	【関】 活動観察 発問評価 【話】 要約発表 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】 定期考査 漢字の小テスト
5	7	文章の書き方	【関】 自分が書きたい題材を選び、その題材に適した構成で適切に表現しようとしている。 【書】 文章の基本的な書き方に沿って、文章を書くことができています。 【知】 文章の基本的な書き方を理解している。推敲の仕方を理解している。	【関】 活動観察 発問評価 【書】 活動観察 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】 発表・報告 課題提出 漢字の小テスト
	6	わかりやすい表現	【関】 意味のわかりにくい文について、どうして意味がわかりにくくなっているのか指摘しようとしている。 【書】 意味のわかりにくい文について、わかりやすく修正することができる。 【知】 文の意味がわかりにくくなる要因には、どのようなものがあるか理解している。	【関】 活動観察 発問評価 【書】 活動観察 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】 発表・報告 課題提出 漢字の小テスト
6	9	「言葉にする」ことから始めよう （池上彰）	【関】 自分の考えを言葉にして、人に伝えることの意義について考えている。 【話】 自分の考えを言葉にして、人に伝えることの意義を、自分の体験をもとに話し合うことができる。 【知】 筆者の言う「ブレインストーミング」の方法と効用を理解している。	【関】 活動観察 発問評価 【話】 活動観察 要約発表 発表・報告 課題提出 定期考査 【知】 発表・報告 課題提出 定期考査 漢字の小テスト
	6	表現の工夫	【関】 表現の仕方を工夫して文章を書こうとしている。 【書】 表現技法を用いて、文章を書くことが	【関】 活動観察 発問評価 【書】 活動観察

			できる。 【知】表現技法の効果について理解している。	発問評価 発表・報告 課題提出 【知】発表・報告 課題提出 漢字の小テスト
7	7	描写の方法	【関】描写を工夫して文章を書こうとしている。 【書】風景や人物、出来事について、的確な描写の文章を書くことができる。 【知】描写の効果及び竜点について理解している。	【関】活動観察 発問評価 【書】活動観察 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】発表・報告 課題提出 漢字の小テスト
8	8	相手理解は聞くことから（東山紘久）	【関】聞くことの意義について考えている。 【話】「相手理解は聞くことからしか生まれない」という筆者の意見について、自分の体験をもとに話し合うことができる。 【知】筆者の言う「目的のある会話を上手に進めるためのアドバイス」を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【話】要約発表 発問評価 発表・報告 課題提出 定期考査 【知】発表・報告 課題提出 定期考査 漢字の小テスト
9	12	小論文を書く	【関】小論文で自分の考えを述べようとしている。 他の人の小論文を読み、評価・批評をしようとしている。 【書】小論文の書き方に添って、小論文を書くことができる。 【知】小論文の書き方を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【書】活動観察 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】発表・報告 課題提出 漢字の小テスト
10	8	考えを発表する	【関】自分の意見をわかりやすく伝えるための十分な準備をしている。 他の人の発表を丁寧に聞こうとしている。 【書】聞き手にわかりやすく自分の意見を述べることができる。 他の人の発表内容を的確に聞くことができる。 【知】自分の考えを発表したり、他の人の発表を聞いたりする際の留意点を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【話】活動観察 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】発表・報告 課題提出 漢字の小テスト

11	8	話し合いをする	【関】自分の意見を積極的に発言し、話し合いの進行に協力しようとしている。 【書】適切な言葉遣いで自分の意見を述べることができる。 他の人の意見を的確に聞き取り、問題をさらに深める発言をすることができる。 【知】話し合いの進め方について理解している。	【関】活動観察 発問評価 【話】活動観察 発問評価 発表・報告 課題提出 【知】発表・報告 課題提出 漢字の小テスト
12 1	13	時間の見方を変えるとき（本川達雄）	【関】本文の構成や論証のしかたを、自分の表現に役立てようとしている。 【話】筆者の見解について自分の意見を適切に述べたり、他の人の意見を的確に聞き取ったりすることができる。 【知】「時間」と「エネルギー消費量」の関係を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【話】要約発表 発問評価 発表・報告 定期考査 【知】定期考査 漢字の小テスト

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
公民	政治・経済	2	必修	2	松 川 宗 平

使用教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版
使用副教材	
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	(1) 民主政治の本質について理解し、政治についての基本的な見方や考え方を身につけることができる。 (2) 基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解することができる。 (3) 日本の政治機構の意義と役割について、理解することができる。 (4) 政治に対して、私たちはどのように参加することができるのか考察することができる。 (5) 経済の原理や日本の制度について、資料から読み取ることができる。 (6) 世界のなかの日本経済という視点からみたとき、今後の日本の役割は何か、考察する。
学 習 の 留意点	(1) 教科書・ファイル（ノート）は、毎時間必ず準備すること。 (2) ファイル（ノート）は、政治経済専用で準備すること。 (3) 日頃からニュースや新聞をみる習慣をつけること。
評価規準	【関心・意欲・態度】 現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として、平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。 【思考・判断・表現】 現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【資料活用の技能】 現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 【知識・理解】 現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。

評価の観点（関：関心・意欲・態度　表：思考・判断・表現　技：資料活用の技能　知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	オリエンテーション 成人年齢を迎えるにあたって 第Ⅰ編 現代の政治 第Ⅰ章 民主政治の基本原則 政治と法（教p.6～7） 民主政治へのあゆみ 民主政治への基本原則 世界の政治体制	【関】 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について関心を高め、意欲的に追究し、民主的な政治の在り方について考察しようとしている。 【思】 国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	【関】 活動観察 【思】 ワークシート
5	8	第2章 日本国憲法と基本的人権 日本国憲法の成立－憲法の歴史－ 日本国憲法の基本原則 自由権の基本権Ⅰ－人身・精神の自由－ 自由権の基本権Ⅱ－経済活動の自由－ 法の下での平等－平等権－ 社会権 参政権・国務請求権 新しい人権	【思】 日本国憲法の基本原則と基本的人権について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【知】 日本国憲法の成立過程、憲法の基本原則、自由権の基本権、法の下での平等、社会権と参政権・国務請求権などについて理解し、その知識を身につけている。	【思】 ワークシート 定期考査 【知】 定期考査
6 ・ 7	16	前期中間考査 考査の振り返り 第3章 日本の平和主義と安全保障 日本の平和主義と自衛隊 日米安全保障条約と日本の安全保障 現代日本の安全保障	【関】 日本国憲法の平和主義と日本の安全保障について、関心を高め、意欲的に探究し、国際平和実現の在り方について客観的に考察しようとしている。 【技】 日本国憲法の平和主義と日本の安全保障についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用している。	【関】 活動観察 【技】 ワークシート 単元テスト

		第4章 日本の政治機構 国会の役割 内閣の役割 裁判所の役割 司法への国民の参加 地方自治と地方財政	【技】 日本の政治機構についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用している。 【知】 日本国憲法下の政治機構、地方分権などについて理解し、その知識を身につけている。	【技】 ワークシート 【知】 単元テスト
		第5章 現代日本の政治 選挙制度－原則と仕組み－（教p. 56） 政治参加と選挙の課題（教p. 57～59）	【関】 政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方や主権者としての政治参加の在り方について客観的に考察しようとしている。 【思】 政党政治や選挙などに着目して、主権者としての政治参加の在り方について、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	【間】 活動観察 ワークシート 【思】 ワークシート
		第6章 国際政治と日本 国際法の発達 国際連合の仕組みと機能（教p. 66～69） 現代の国際政治（教p. 72～75） 国際社会における日本の役割	【技】 国際政治に関する諸資料をやメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用している。 【知】 国際社会の変遷、国家主権領土に関する国際法の意義、国際機構の役割、日本及び諸外国の安全保障と防衛について理解し、その知識を身につけている。	
8 ～ 10	23	夏休み明け単元テスト 第2編 現代の経済 第1章 現代経済の特質 経済活動の意義と経済循環 価格と市場の役割 需要曲線と供給曲線 市場機構の限界 市場の失敗 現代の企業 物価変動と国民生活 租税と国債 政府の経済的役割と課題－財政政策 納める税を確定する仕組み－確定申告－ 貨幣の役割と金融政策（教p. 104～107）	【関】 現代経済の特質について関心を高め、意欲的に追究し、経済活動の在り方と福祉の向上について客観的に考察しようとしている。 【思】 現代経済の特質について、資料に基づき、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【技】 現代経済の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	
		前期末考査 考査の振り返り		

		第2章 現代日本の経済 公害環境問題 消費者問題Ⅰ－消費者問題とは－ 消費者問題Ⅱ－解決に向けて－ 労働問題Ⅰ 労働問題Ⅱ－変化する日本の雇用慣行－ (教p160～163) 貧困問題Ⅰ－貧困とは－ 貧困問題Ⅱ－貧困の現状－ 貧困問題Ⅲ－貧困の解決に向けて－ 社会保障制度と課題	【技】 収集した資料の中から国際的な相互依存関係の深化などの国際経済の特質、国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割などについての学習に役立つ情報を適切に選択して、効果的に活用している。 【知】 各産業に直面する問題、公害・環境問題、消費者問題、雇用をめぐる問題、社会保障問題など日本経済の諸課題について理解し、その知識を身につけている。	
11 ・ 12	15	第3章 国際経済と日本 貿易ゲーム 国際的な経済格差に関する問題 貿易と国際経済 貿易の意義と課題（経済学思想） 比較生産費説 為替相場 地球環境問題 持続可能な開発とエネルギー問題 国際経済における日本の役割	【思】 国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について社会の変化や自由貿易など様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【技】 国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。	
		後期中間考査 考査の振り返り		
		第3編 現代社会・経済の諸課題 第1章 現代日本の諸課題 人口減少社会と社会保障 挑戦する中小企業 実質的な「法の下の平等」に向けて	【関】 現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察しようとしている。	
I	3	1年間の振り返り 後期末考査 考査の振り返り		

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
数学	数学A	3	必修	2	今井進裕

使用教科書	改訂 新数学A（東京書籍）
使用副教材	ニューファースト新数学A（東京書籍）
科目の目標	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 基礎的な知識の習得ができる。 2 簡単な計算問題が解ける。 3 数学と実生活との結びつきが理解できる。 4 問題解決能力を養うことが出来る。
学 習 の 留意点	授業で問題を解いた後に、副教材を用いて復習を行うこと。 授業中にとったノートを見返して復習を行うこと。
評価規準 及 び 評価配分	【関心・意欲・態度】 場合の数と確率、整数の性質の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。 【数学的な見方や考え方】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、場合の数と確率、整数の性質における数学的な見方や考え方を身に付けている。 【数学的な技能】 場合の数と確率、整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【知識・理解】 場合の数と確率、整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 思：数学的な見方や考え方 技：数学的な技能 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	8	○数え上げの原則	【関】数え上げの方法について関心をもち、それを事象の考察に活用しようとしている。 【知】集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解している。	【関】レポート 【知】記述の点検 【知】定期考査
6 7	14	○順列・組合せ	【思】順列の考え方をを用いて、円順列や組合せなどの総数について考察することができる。 【知】順列及び組合せの意味について理解している。	【思】【知】記述の点検 【思】【知】定期考査
8	6	○確率とその基本的な法則	【関】確率について関心をもち、それを事象の考察に活用しようとしている。 【技】事象の確率を求めることができる 【知】確率の意味や基本的な法則について理解している。	【関】レポート 【知】記述の点検 【技】【知】定期考査
9	4	○独立な試行と確率	【技】独立な試行の確率を求めることができる 【知】独立な試行の意味を理解している。	【知】記述の点検 【技】【知】定期考査
10	4	○条件付き確率	【技】簡単な場合について条件付き確率を求めることができる 【知】条件付き確率の意味を理解している。	【知】記述の点検 【技】【知】定期考査
11	8	○約数と倍数	【関】整数について関心をもち、それを事象の考察に活用しようとしている。 【思】整数に関連した事象を論理的に考察し、表現することができる。 【知】素因数分解を用いた公約数や公倍数の求め方を理解している。	【関】レポート 【知】記述の点検 【思】【知】定期考査
12	4	○ユークリッドの互除法	【技】ユークリッドの互除法を用いて二つの整数の最大公約数を求めることができる。 【技】二元一次不定方程式の簡単な場合について整数解を求めることができる。 【知】整数の除法の性質に基づいてユークリッドの互除法の仕組みを理解している。 【知】二元一次不定方程式の解の意味について理解している	【知】記述の点検 【技】【知】定期考査
1	10	○整数の性質の活用	【関】整数の性質を事象の考察に活用しようとしている。 【思】整数の性質を事象の考察に活用できる。 【知】二進法などの仕組みについて理解している。	【関】レポート 【思】【知】記述の点検 【知】定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
保健体育	体育	3	必修	3	伊 藤 航

使用教科書	現代高等保健体育
使用副教材	Active Sports
教科の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養っている。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。
評価規準 及 評価配分	【知識及び技能】 1 体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と運動の実践を通して、多様な関り方を状況に応じて選択している。 2 各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わうとともに、各領域に応じた技能や攻防ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 自他の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、考え深め他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 合意形成に貢献しようと意欲を持っており、健康・安全を確保している。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時数	単元・学習内容	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	態		
4	15	体づくり運動	○	○	○	【知】自己のねらいに応じて、継続的な運動の計画を立てて取り組んでいる。 【思】目標達成のための課題を見つけられ、合理的な解決に向け考えを共有している。 【態】合意形成に貢献している。	活動観察
5	20	体育理論 バレーボール	○			【知】豊かなスポーツライフの設計について理解している。 【知】連携した動きによって空間を作り出し攻防している。	活動観察 スキルテスト
5		バレーボール		○	○	【思】他者からのアドバイスを参考に、自己の考えを深め計画的に取り組んでいる。 【態】合意形成に貢献している。	活動観察
6		バレーボール	○		○	【知】自己に適した多様な関わり方をしている。	活動観察
7	20	陸上競技	○		○	【知】種目特有の技能を身に付けている。 【態】一人一人の違いに応じた課題に挑戦している。	活動観察
8		陸上競技	○	○	○	【知】種目特有の技能を身に付けている。競技会の行い方を理解している。 【思】他者からのアドバイスを参考に、自己の考えを深め計画的に取り組んでいる。	活動観察 スキルテスト
9	20	体育理論 【選択】 ダンス 器械運動（マット運動）	○	○	○	【思】豊かなスポーツライフの設計について課題を発見し、解決に向けて考えたことを他者に伝えている。 【知】自己に適した技で演技している。特有の表現を身に付けている。 【態】一人一人の違いを大切にし、主体的に取り組んでいる。	活動観察
10		【選択】 ダンス 器械運動（マット運動）	○	○	○	【知】自己に適した技で演技している。特有の表現を身に付けている。 【思】テーマに沿った課題を発見し考えを深め、計画的に取り組む方を工夫している。	活動観察 スキルテスト

11		12月まで各12時間ずつ実施 バドミントン バスケットボール	○		○	【知】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決する過程で、多様な楽しみ方を味わっている。 【態】合意形成に貢献し、互いに高め合おうとしている。	活動観察
12	2 4	バドミントン バスケットボール	○	○	○	【思】自他の課題を発見し、計画的に取り組む方を工夫し考えを共有している。 【知】自己に適した多様な関り方をしている。作戦を立てて仲間と連携してゲームを展開している。	活動観察
1	6	体育理論			○	【態度】豊かなスポーツライフの設計の仕方について主体的に取り組んでいる。	活動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
外国語	コミュニケーション英語 I	2	必修	2	佐々木 瞳

使用教科書	VISTA English Communication I New Edition (三省堂)
使用副教材	アクシスジーニアス英和辞典 (大修館書店)、V単語1500 (浜島書店)
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
学 習 の 到達目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 2 英語を通じて、情報や考えなどを理解する能力を身に付ける。 3 英語を通じて、情報や考えなどを表現する能力を身に付ける。 4 英語の基礎的な語彙や文法を理解し、言語や文化に対する理解を深める。
学 習 の 留意点	1 忘れ物をした場合は、授業が始まる前までに報告すること。 2 授業で配布されるプリントをまとめるファイルを必ず持参すること。 3 意見の違いや間違いを恐れず、楽しむこと。 4 自分のため、相手のために英語を使うこと。
評価規準	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
	【外国語表現の能力】 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
	【外国語理解の能力】 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	【言語や文化についての知識・理解】 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：外国語表現の能力 理：外国語理解の能力 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	10	Lesson 7 Machu Picchu 現在完了形 リーディング（マチュピチュについての会話） スピーキング（世界遺産の紹介）	【関】間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて話している。 【表】単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて適切に話することができる。 【理】単語の発音、リズムやイントネーションなどの音声的な特徴を捉えて音読することができる。 【知】言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身に付けている。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト 【理】音読テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト
6	10	Lesson 8 Motala and Landmines リーディング（地雷で義足になった象についての物語） ライティング（本文を読んだ感想）	【関】うまく表現できないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして自分の意見を書き続けている。 【表】読んだことについて、その概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。 【理】読んだ内容についての賛否や簡単な感想を述べることができるように、批判的に読むことができる。 【知】場面や状況、目的に応じた表現や論理の展開を表す表現についての知識を身に付けている。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト 【理】筆記テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト
7 8	7	海外研修に向けて スピーキング（自己紹介、日常会話など） リスニング（街中で聞こえる英語）	【関】相手に確認したり、繰り返しや説明を求めたりしながら聞き続けている。 【表】情報や考えなどについて、互いに質問したり質問に答えたりすることができる。 【理】場面や状況、背景、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握することができる。 【知】授業を通して学んだことを積極的に活用して話している。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト 【理】筆記テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト
9 10	12	Lesson 9 Dick Bruna 関係代名詞 リスニング（ディックブルーナについての説明文） スピーキング（好きなキャラクター）	【関】間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて話している。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト

			【表】聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちに応じた適切な速度や声の大きさで話することができる。 【理】人物についての説明を聞いて、重要な語句などを手掛かりにして概要や要点を理解することができる。 【知】言語活動に用いられている語句や文構造、文法事項などについての知識を身に付けている。	【理】筆記テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト
10 11	12	Lesson 10 Tsujii, the Great Pianist 関係副詞 リーディング（辻井さんについてのインタビュー記事） スピーキング（インタビュー形式のやり取り）	【関】必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。 【表】相手の発話に対して適切に回答することができる。 【理】インタビュー記事を読んで、登場人物の言動やその言動に理由等を捉えることを通じ、概要や要点を理解することができる。 【知】場面や状況に応じた表現についての知識を身に付けている。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト 【理】筆記テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト
11 12	12	Lesson 11 Ideas from Nature 仮定法 リーディング（生物模倣についての説明文） ライティング（生物模倣について）	【関】必要に応じて辞書などを活用して読んでいる。 【表】聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについてその概要や自分の考えを簡潔に書くことができる。 【理】つながりを示す語やフレーズに注意して文章を読み、論理がどのように展開しているかを把握することができる。 【知】文と文、段落と段落のつながりを示す語やフレーズを理解している。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト 【理】筆記テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト
12 1	12	Lesson 12 Steve Jobs リスニング（スティーブジョブズについての記事） スピーキング（将来の夢）	【関】うまく言えないことがあっても、既知の語句や表現を用いるなどして情報や考えなどを伝えている。 【表】場面や状況に応じた適切な表現を用いて話することができる。 【理】語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。 【知】情報と考え、事実と意見とを区別し、整理しながら聞くことができる。	【関】活動の観察 【表】パフォーマンステスト 【理】筆記テスト 【知】パフォーマンステスト、筆記テスト

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	総合実習	3	必修	1	農業教員

使用教科書	FFJナビゲーター
使用副教材	なし
科目の目標	農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、企画力や管理能力などを身に付け、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 農業クラブ活動を通して、地域の課題を分析し改善に向けた総合的な知識と技術などの実践することができ 2 自らの課題や主張をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力を育成し、農業の各分野の改善を図る実践することができる。 3 自主的に研究・競技活動を行い、農業の技術の習熟を図るとともに、農業の各分野の改善を図る実践することができる。
学 習 の 留意点	1 日頃から自主的に活動し、結果や課題を分析し改善につなげる能力を身に付けること。 2 日頃から農業に関わるニュースに関心を持ち、農業経営を具体的な数字で理解すること。
評価規準 及 評価配分	【関心・意欲・態度】 農業学習と学校農業クラブ活動について興味・関心をもち、農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動の学習の課題について探究しようとしている。 【思考・判断・表現】 農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技能】 農業学習と学校農業クラブ活動に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択している。 【知識・理解】 農業学習と学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の特質、プロジェクト学習及び学校農業クラブ活動について学習の特徴を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：課題解決の能力 技：製造技術 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	プロジェクト計画発表会	【関】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全に関心を持ち、主体的に基礎的な栽培・飼育等の実践的な学習方法について探究しようとしている。 【表】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全等について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	【関】行動観察
5	9	クラス意見発表大会 校内意見発表大会 農業クラブ総会	【関】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全に関心を持ち、主体的に基礎的な栽培・飼育等の実践的な学習方法について探究しようとしている。 【表】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全等について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	課題点検 レポート 発表の様子 大会結果
6	5	校内技術競技大会 北北海道意見発表会	【技】農業学習の特質である農業学習と学校農業クラブ活動に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【知】農業学習の特質である農業学習や学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、科学性や実践力の育成を目指す実践的、総合的な学習であることを理解している。	行動観察 小テスト 大会結果
8	9	全道意見発表大会	【技】農業学習の特質である農業学習と学校農業クラブ活動に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【知】農業学習の特質である農業学習や学校農業クラブ活動に関する基礎的な知識を身に付け、科学性や実践力の育成を目指す実践的、総合的な学習であることを理解している。	行動観察 小テスト 大会結果
11	4	プロジェクト中間発表会	【関】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全に関心を持ち、主体的に基礎的な栽培・飼育等の実践的な学習方法について探究しようとしている。 【表】農業学習の特質である農業生物の育成と環境保全等について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	

3	4	実績発表大会	【関】プロジェクト学習について関心を持ち、活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について探究しようとしている。 【表】プロジェクト学習について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】プロジェクト学習に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。 【知】プロジェクト学習に関する基礎的な知識を身に付け、農業学習の確実な定着と3大目標を高めることの重要性を理解している。	課題点検 レポート 行動観察 小テスト 大会結果
---	---	--------	---	---

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業情報処理	3	必修	1	宮川 藤村

使用教科書	農業情報処理（実教出版）
使用副教材	新「情報」活用テキスト（P検協会）、新「情報」学習ノート
科目の目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報に関する知識と技術を習得させるとともに、農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 変化を続ける情報技術や情報通信ネットワークの形態及び情報の質に対応し、農業情報及び環境情報に興味と関心を持つ。 2 農業情報及び環境情報などを主体的に収集や分析、発信する情報活用能力と、職業人として情報社会に主体的に参加する態度を養う。
学 習 の 留意点	1 コンピューターで授業と関係のないことを調べるなどの行為を行わないこと。 2 個人情報の取り扱いには十分注意すること。 3 他の人のフォルダーを勝手に操作しないこと。
評価規準 及 評価配分	【関心・意欲・態度】 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、社会貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付けようとしている。
	【思考・判断・表現】 情報を扱う基礎的な技能を基に、農業の課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
	【技能】 情報機器を用いたデータの管理に関する基礎的な技術を身に付け、情報収集や情報活用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【知識・理解】 情報に関する基礎的な知識を身に付け、農業経営の情報収集や編集、情報活用の重要性を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5 6	11	・農業学習と情報活用 ・ICTプロフィシエンシー検定対策	【関】農業クラブ活動に情報通信技術を活用できるよう、主体的に学習に取り組もうとしている。 【表】プロジェクト学習に向けた基礎的な技能を基に、農業の課題を適切に判断し、科学的に捉えて合理的に解決し表現する能力を身に付けている。 【技】情報通信ネットワークやコンピュータを活用し、収集したデータを整理・評価、分析するための知識と技術を適切に活用している。 【知】農業クラブ活動に活用できる情報通信技術の理解ができる。	【関】ワークシート、活動観察 【表】ワークシート 【技】ワークシート、ノート 【知】定期考査
7 8 9	12	・情報技術 ・ワープロソフトの活用 ・表計算ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・ICTプロフィシエンシー検定対策	【関】これからの進路に関わる技術の習得のため意欲的に取り組もうとしている。 【表】プロジェクト学習において必要なデータ収集、分析を的確に行い表現する能力を身に付けている。 【技】ワープロソフトを用いた的確な文章作成、データの作成、パワーポイントを用いた資料作成、表計算ソフトを用いたデータの整理ができる。 【知】ワープロソフトを用いた的確な文章作成ができる。	【関】ワークシート、活動観察 【表】ワークシート 【技】ワークシート、ノート 【知】定期考査
10 11 12 1	12	・農業情報及び環境情報の活用	【関】プロジェクト活動に必要な基礎的な技能を基に、プレゼンテーションで効果的に伝達する能力を身に付けている。 【表】情報通信の技術を活用した、流通などのシステム化や、農業クラブ活動の取り組みの情報発信について考察できる。 【技】コンピュータを活用し、収集したデータを分析するための技術を適切に活用している。 【知】各科目のプロジェクト学習に向けて、農業情報を効果的かつ合理的に活用することの重要性を理解している。。	【関】ワークシート、活動観察 【表】ワークシート 【技】ワークシート、ノート 【知】定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	作物	3	必修（生産科学コース）	2	滝澤 ジェス

使用教科書	作物（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 2 作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学 習 の 留意点	1 作物の観察を中心に座学や実験実習を並行するので記録ノートや配布物を必ず持参すること。 2 作業の記録や観察事項を正確に記録し、基礎基本的な栽培に関する知識や技術を学習すること。 3 地域の畑作の現状を理解し、これからの作物経営のポイントとなる事項を考察できるように学習すること。
評価規準 及 評価配分	【関心・意欲・態度】 作物の栽培に関する学習内容について興味・関心をもち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。
	【思考・判断・表現】 作物の栽培に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
	【技能】 作物の栽培に関する学習内容に関する基礎的な技術を身に付け、作物栽培に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【知識・理解】 作物の栽培に関する学習内容に関する基礎的な知識を身に付け、作物栽培の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	7	ガイダンス ・プロジェクト学習計画	【関】研究における仮説を立て、その仮説を立証できる計画を立案できている。 【表】生育状況や施肥設計および栽培環境が生育状態や収量にどのような影響を与えるのか研究する。 【技】聞き手にわかりやすいようなプレゼンができている。 【知】作物の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。	【関】活動観察 【表】プレゼン 【技】プレゼン 【知】ワークシート
4 5	8	作物の特性と栽培技術 ・小豆播種 ・シソの苗作り ・GAP審査（書類の理解）	【関】小豆、シソの栽培計画を立てることができる。 【表】作物の栽培特性について基礎的な知識と技術を身に付けている。 【技】作物の栽培技術を理解し、播種することができる。 【知】作物の栽培技術に関する基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連づけて理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
5 6	9	作物の栽培管理 ・小豆 ・シソ	【関】小豆、シソの栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。 【表】小豆、シソの防除、除草などの適切なタイミングを判断している。 【技】小豆、シソの除草、防除技術を身に付け実習ができている。 【知】小豆、シソの病害虫について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
7 8	10	作物の特性と栽培管理（生育調査） ・小豆 ・シソ	【関】小豆、シソ、生育調査について積極的に取り組んでいる。 【表】小豆の小培土の最適なタイミングについて理解している。 【技】小豆、シソの栽培管理の技術を身に付け実習ができている。 【知】小豆、シソ、の栽培管理の基礎的な知識を身に付け、栽培環境との関連について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト

9	12	作物の特性と栽培技術（収穫） ・小豆 ・シソ	【関】小豆、シソ、の収穫について関心を持って積極的に取り組もうとしている。 【表】小豆、シソ、の最適な収穫のタイミングを判断することができる。 【技】小豆、シソ、の収穫技術を身に付けて実習している。 【知】小豆、シソ、の出荷基準に関する知識を身につけ、出荷調整方法を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
10 11	7	流通とその改善 ・郷土料理 ・マーケティング	【関】郷土料理について興味、関心を持ち、積極的に郷土料理について学ぶ姿勢を見せている。 【表】作物の全体の収量を求め、今年度の栽培を農業経営の観点において判断することができる。 【技】作物を使った郷土料理を身に付けて実習できる。 【知】マーケティングの手法を身につけ、マルシェでのマーケティングの重要性を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】グループワーク 【知】定期テスト
12	12	プロジェクト学習のまとめ	【関】わかりやすい発表をするための努力をしている。 【表】作物の収量試験の結果を分析して考察してまとめる。 【技】わかりやすい発表ができています。 【知】作物の基本的な知識を身に付けている。	【関】活動観察 【表】パワーポイント 【技】グループワーク 【知】定期テスト
1 2	5	生産物の管理と評価 ・販売方法の模索 ・1年間の振り返り	【関】生育環境の要素について興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組み、課題解決を図ろうとしている。 【表】収穫した農産物の収量について農業経営の観点において判断することができる。 【技】栽培に適した圃場づくりについて基礎的な技術を身に付けようとしている。 【知】これまでの販売での課題点を学び、本校のマルシェ運営のマーケティング方法を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】グループワーク 【知】定期テスト

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	野菜	3	必修（生産科学コース）	2	滝澤ジェス

使用教科書	野菜（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を育成することを目指す。
学習の到達目標	1 野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。 3 野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。
学習の留意点	1 定期考査はプリントを中心に出题し実習内容を含め出题するのでしっかり取り組むこと。 2 わからないところをしっかりと聞き理解する姿勢で臨み、疑問を持つことを習慣付けること。
評価規準 及び 評価配分	【関心・意欲・態度】 野菜に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。
	【思考・判断・表現】 野菜に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、草花に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	【技能】 野菜の各分野に関する基礎的・基本的な技術を深め、野菜に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用できる力を身に付ける。
	【知識・理解】 野菜の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	5	ガイダンス ・プロジェクト学習計画 ・生産工程の管理（GAP）	【関】研究における仮説を立て、その仮説を立証できる計画を立てられる。 【表】生育状況や施肥設計および栽培環境が生育状態や収量にどのような影響を与えるのか研究する。 【技】わかりやすいようなプレゼンができています。 【知】作物の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。	【関】活動観察 【表】プレゼン 【技】プレゼン 【知】ワークシート
4 5	12	野菜の特性と栽培技術 ・メロン	【関】メロンの栽培計画を立てることができる。 【表】野菜の栽培特性について基礎的な知識と技術を身に付けている。 【技】野菜の栽培技術を理解し、播種することができる。 【知】野菜の栽培技術に関する基礎的な知識を身に付け、栽培環境と関連づけて理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
6 7	13	野菜の特性と栽培管理 ・メロン	【関】メロンの栽培管理に関心を持ち積極的に取り組もうとしている。 【表】メロンの防除、除草などの適切なタイミングを判断している。 【技】メロンの除草、防除の技術を身に付け実習ができています。 【知】メロンの病害虫について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
8 9	5	野菜の特性と栽培技術（収穫） ・メロン	【関】メロンの収穫について関心を持って積極的に取り組もうとしている。 【表】メロンの最適な収穫のタイミングを判断することができる。 【技】メロンの収穫技術を身に付けて実習している。 【知】メロンの出荷基準に関する知識を身につけ、出荷調整方法を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
7 8 9	5	商品化と生産物の管理・評価 ・メロン	【関】野菜の収穫と調整、出荷、その際の管理、野菜の商品化について、関心を持って学んでいる。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察

			【表】品質の向上や消費者のニーズに配慮した付加価値を高める商品化について説明できる。 【技】野菜の栽培技術や収穫の適期と方法が品質に及ぼす影響について理解している。 【知】野菜の収穫と調製、出荷、その際の品質管理や品質検査及び野菜の商品化について理解している。	【知】定期テスト
4 5 6 7 8 9	10	機械・施設の利用	【関】大規模生産や品質の向上などについて身に付けようとしている。 【表】温室の設備、環境制御技術について適切に理解、表現できる。 【技】施設・設備の機能や構造、生育環境を調節するために必要な合理的な設備の制御や維持管理についての技術を身に付けている。 【知】機械・施設の利用について、に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、意義や役割を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
10 11	10	地域環境に配慮した野菜生産	【関】物質循環機能を生かし、持続的な野菜生産方法を身に付けようとしている。 【表】地域の環境や地域農業の実態に適応した野菜生産の経営形態を適切に判断できる。 【技】有機 JAS マニュアルについて、理解し、身に付けている。 【知】地域環境に配慮した野菜生産に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、意義や役割を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
12	10	プロジェクト学習のまとめ	【関】わかりやすい発表をするための努力をしている。 【表】作物の収量試験の結果を分析して考察してまとめる。 【技】わかりやすい発表ができています。 【知】作物の基本的な知識を身に付けている。	【関】活動観察 【表】パワーポイント 【技】グループワーク 【知】定期テスト

1 2	5	野菜生産と経営の実践	【関】幅広い視野をもって創造的に野菜生産と経営を身に付けようとしている。 【表】農業生産や農業経営のあるべき姿を捉えながら、地域特有の農業経営を適切に判断し、表現している。 【技】地域における野菜経営の実態を検証し、今後の野菜生産あり方について理解している。 【知】六次産業化、ブランド化などの幅広い視点をもって創造的に野菜生産と経営を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】定期テスト
--------	---	------------	---	--

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	草花	3	必修（生産科学コース）	2	宮 川 拓

使用教科書	草花（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 草花の生産と利用について興味・関心を持たせ、探求する姿勢を身に付ける。 2 生産の利用の特性について、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 3 草花に共通する生理・生態的な特性と栽培環境に関する知識及び開花調節などを身に付ける。 4 花壇用草花等の管理を行うことによって、季節による灌水方法や、肥料・施設管理について身に付ける。 5 鉢ものの生産について、草花の種類によって異なる栽培管理やその体系についての知識を身に付ける。 6 シクラメンの栽培・管理を通し、鉢上げなどの基本的な技術とその管理方法を身に付ける。 7 鉢ものの生産について、栽培・管理に関する基本的な知識を身に付ける。 8 草花生産の持続可能性の確保について考察する力を身に付ける。
学 習 の 留意点	1 定期考査はプリントを中心に出题し実習内容を含め出题するのでしっかり取り組むこと。 2 わからないところをしっかりと聞き理解する姿勢で臨み、疑問を持つことを習慣付けること。
評価規準 及 評価配分	【関心・意欲・態度】 草花に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。
	【思考・判断・表現】 草花に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識を基に、草花に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
	【技能】 草花の各分野に関する基礎的・基本的な技術を深め、草花に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【知識・理解】 草花の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	5	ガイダンス 草花園芸の特徴	【関】草花生産と経営に興味・関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。 【表】草花の品種の特徴を表現している。 【技】播種についての技術を身に付けている。 【知】草花の基本的な生育特性や栽培技術を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
5	11	草花の生育と環境	【関】我が国で生産されている草花の種類や生産形態に興味関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。 【表】草花の生育状況や移植の判断基準について判断している。 【技】移植についての技術を身につけている。 【知】移植についての意義や方法について理解できる。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】定期考査
5 6	10	園芸デザイン	【関】各班で園芸デザインを意識した花壇造成に取り組もうとしている。 【表】草花の装飾的特性を生かした剪定方法や花壇花の定植方法を判断することができる。 【技】色の心理的効果を理解した園芸デザインを身につけている 【知】草花の装飾特性の基礎的・基本的な知識を身に付けて理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
5 6 7	10	花壇用草花生産の特色	【関】花壇用草花の生産の特色についての学習を主体的に取り組もうとしている。 【表】剪定する花はどのような花なのかを理解し、判断することができる。 【技】草花の栽培技術に関する栽培計画を作成し、その技術を適切に活用している。 【知】花壇用草花生産の特色を理解し、知識を身に付けている。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート

7	10	草花の生育と栽培技術	【関】生育の学習について主体的に取り組もうとしている。 【表】草花の生育と生理について、理解し判断する能力を身に付けている。 【技】花が枯死している部分、または全体のバランスをみて花を選定することができる。 【知】草花の繁殖方法について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
7 8 9 10 11	10	鉢ものの生産の特色	【関】鉢ものの栽培技術に関する知識を身に付けている。 【表】高品質なシクラメンを生産している農家の条件と比較し、本校のシクラメンの課題を考え、栽培方法の改善策について考えることができる。 【技】鉢ものについて特性と栽培技術を適切に活用している。 【知】鉢ものの経営的特色・栽培環境の特色、栽培環境や消費者のニーズに合った種類・品種・作型について理解する。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】定期考査
12	9	切り花生産の特色	【関】切り花生産の経営と栽培に関する知識を身に付けている。 【表】切り花の品種について判断、表現できている。 【技】切り花経営についての生産費や収支についてのデータを読み取ることができる。 【知】切り花生産の基本的な知識を身に付けている。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
1 2	5	生産と流通の改善	【関】高品質なシクラメンとはなにかを考え、現状のシクラメンと比較し、よりよいシクラメン生産とはなにか考えようとしている。 【表】高品質なシクラメンとはなにか考え、生産したシクラメンに適した価格設定を考えることができる。 【技】我が国の草花の流通形態と草花の需要と供給の知識・技術を適切に活用している。 【知】草花生産の栽培技術を理解し、知識を身に付けている。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業機械	3	必修（生産科学コース）	2	宮 川 拓

使用教科書	農業機械（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業機械の取り扱いと維持管理に必要な知識と技術を習得させ、機械の構造と作業上の特性を理解させるとともに、農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 農業機械の利用と機械化の意義を理解する。 2 農業機械（歩行用トラクタ・乗用トラクタ等）の特徴と安全な機械操作に関する知識を身に付ける。 3 農業機械の作業上の特性と安全確保について理解し、農業機械の操作と利用に関する知識と技術を習得する。 4 4サイクルガソリン（ディーゼル）エンジンの原理と構造を理解し、維持管理する整備技術を習得する。 5 作業機の種類と特徴を理解し、利用法を身に付ける。 6 電動機の種類と特徴を理解し、安全な運転と取り扱い方を身に付ける。
学 習 の 留意点	トラクタ実習では誤った操作方法により大きな事故につながる危険があるため、常に周囲の状況を確認し安全操作ができるよう心がけること。
評価規準 及 び 評価配分	【関心・意欲・態度】 農業機械の取り扱いと農業経営について興味・関心をもち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決するための実践的な態度を身に付けようとしている。
	【思考・判断・表現】 農業機械の取り扱いと農業経営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。
	【技能】 農業機械の取り扱いと農業経営に関する基礎的な技術を身に付け、農業機械の利用と農業経営に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【知識・理解】 農業機械の取り扱いと農業経営に関する基礎的な知識を身に付け、農業機械の特性と操作方法や農業経営の重要性を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	9	機械化の意義	【関】農業機械の利用について興味・関心を持ち、機械化と生産性の関係性について探究しようとしている。 【表】地域の農業機械の利用に関する課題を発見し、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【技】農業機械の操作と効率的な利用に関心を持ち、その技術を適切に活用している。 【知】地域の農業機械の作物体系別の農業機械の種類と利用、作業体系について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】定期考査
5	12	農業機械（歩行用・乗用トラクタ等）の種類と特徴	【関】農業機械の種類、正しい操作の技術、実践的な態度を身に付けようとしている。 【表】農業機械に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 【技】農業機械の種類と特徴について理解し、その技術を適切に活用している。 【知】農業機械の構造に関する基礎的な知識を正しく身に付け、その方法を理解している。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】定期考査
6	10	農業機械（歩行用・乗用トラクタ等）の運転操作の基本	【関】農業機械の操作の基本について興味・関心を持ち、機械化と生産性の関係性について探究しようとしている。 【表】運転操作に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 【技】トラクタの運転操作に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知】農業機械の正しい操作技術、点検、整備方法、トラクタと作業機のマッチングや接続の原理について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】ワークシート
7 8	11	農業機械の安全作業な取り扱い	【関】農業機械を適切かつ安全に操作する知識を身に付けようとしている。	【関】活動観察

			【表】農作業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 【技】農業機械の危険性や安全な操作方法について知識、技術を適切に活用している。 【知】地域の農業機械の事故の実態について自ら考え、安全確保の知識を身に付けようとしている。	【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】ワークシート
9 10	7	内燃機関の潤滑装置	【関】内燃機関に興味・関心をもち、整備と生産性の関係について探究しようとしている。 【表】内燃機関の種類、について思考を深め、その構造について適切に表現している。 【技】内燃機関の構造と操作について理解するとともに、関連する技術を適切に活用している。 【知】内燃機関に関する基礎的な知識を身に付け、内燃機関の特性を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】定期考査
11	8	作業機の種類と特徴	【関】作業の種類と用途、作動原理について探求しようとしている。 【表】作業とその操作について科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【技】作業機に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知】作業機の構造と操作の重要性を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】ワークシート
12	9	燃料系統・点火装置・冷却装置	【関】内燃機関の種類特性を理解しの構造の違いについて探究しようとしている。 【表】各装置に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 【技】内燃機関に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知】内燃機関の構造と操作の重要性を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】ワークシート

I	4	農業機械の整備と工具	【関】工具の種類、正しい取り扱い技術、実践的な態度を身に付けようとしている。 【表】整備点検に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その過程や結果を適切に表現している。 【技】整備と工具に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知】整備点検に関する基礎的な知識を正しく身に付け、その方法を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】定期考査
I	5	電動機の種類と特徴	【関】電動機に興味・関心をもち、農業機械との関係性について探究しようとしている。 【表】電動機に関する思考・知識を深め、構造について適切に表現している。 【技】電動機に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知】電動機の種類、構造と操作の重要性を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察、ワークシート 【知】定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	食品製造	3	必修(食品科学コース)	4	片山 幹洋・石田 香蓮

使用教科書	食品製造（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	食品製造に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 農業生産、食品製造から食料消費までの安全な食料供給の仕組みを理解することができる。 2 実験・実習をととして、食品の特性と加工原理を理解することができる。 3 食品や製造機械、器具の安全な取り扱いについて理解することができる。 4 食品衛生上の危害発生の防止について理解することができる。
学 習 の 留意点	1 製造実習後は食品加工レポート用紙を記入し提出すること。 2 授業の冒頭で必ず授業の目的を話すので、聞き逃さないようにすること。
評価規準 及 び 評価配分	【関心・意欲・態度】 食品製造について興味・関心を持ち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。
	【思考・判断・表現】 食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
	【技能】 食品製造に関する基礎的な技術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【知識・理解】 食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：課題解決の能力 技：製造技術 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	16	プロジェクト学習「本校実習製品の品質改善と安定生産」 ○穀類の加工 穀類を利用した加工食品（パン・パウンドケーキ）のつくり方を確認する	【技】穀類の製造に関わる特性と加工の原理に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	【技】行動観察
	16	プロジェクト学習「本校実習製品の品質改善と安定生産」 ○肉類の加工 ジンギスカンの製造	【関】食品製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【表】食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】食品製造に関する基礎的な技術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している 【知】食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】活動評価 【表】活動評価 実習記録簿 【技】課題評価 【知】実習記録簿
	16	プロジェクト学習「本校実習製品の品質改善と安定生産」 ○穀類の加工 パウンドケーキの改善（クルミ、チョコチップ）の製造方法を確立する。	【表】パウンドケーキの製造に関する学習を通して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	【表】レポート
6 7 8	16	プロジェクト学習「原料の加工特性を知る」 ○牛乳の加工 成分の特徴と加工特性を知る バターの特徴と加工原理を理解する 酸乳飲料の製造に必要な知識と技術を習得する ○羊肉の加工 羊肉ウィンナーソーセージ製造 ○イチゴの加工 イチゴジャムの製造	【関】製造に興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【知】製造原料の特性について理解し適切な製造工程を実践できる。	【関】課題点検 【知】行動観察
	16	プロジェクト学習「原料の加工特性を知る」 ○豆類の加工 大豆の加工（豆腐の製造） ○牛乳の加工 ハードヨーグルトの特徴と加工原理を理解する ○イチゴの加工 イチゴジャムの製造	【技】豆腐とヨーグルトの製造に関する特性と加工の原理に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	【技】行動観察
	16	○フレッシュチーズの加工 フレッシュチーズの特徴と加工原理を理解する 乳製品の製造に必要な知識と技術を習得する	【関】製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料に関係することについて探究しようとしている。 【知】製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】課題点検 【知】小テスト

9	16	プロジェクト学習「熟成タイプチーズの特徴と加工原理を理解する」「チーズの製造に必要な知識と技術を習得する」 ○牛乳の加工 プロジェクト学習「本校実習製品の品質改善と安定生産」 ○清涼飲料の製造 ペリーラの製造 ○トマトの加工 トマトケチャップの製造	【表】発酵食品に関する学習を通して基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。清涼飲料の製造方法を理解している。	【表】レポート 【知】定期考査
		○羊肉の加工 羊肉ウィンナーソーセージ製造	【関】食品製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【表】食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】食品製造に関する基礎的な技術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している 【知】食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】活動評価 【表】活動評価 実習記録簿 【技】課題評価 【知】定期考査 実習記録簿
10	16	プロジェクト学習「麴の性質と働きの重要性を理解する」○みそ・しょうゆの製造 みそ・しょうゆの特徴を理解する	【技】みそ・しょうゆの製造に関わる特性と加工の原理に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	【技】行動観察
		○羊肉の加工 羊肉スライス製造	【関】食品製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【表】食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】食品製造に関する基礎的な技術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している 【知】食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】活動評価 【表】活動評価 実習記録簿 【技】課題評価 【知】定期考査 実習記録簿
11	16	○羊肉の加工 羊肉ウィンナーソーセージ製造	【関】食品製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【表】食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】食品製造に関する基礎的な技	【関】活動評価 【表】活動評価 実習記録簿 【技】活動評価

			術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している 【知】食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【知】定期考査 実習記録簿
		○プロジェクト学習「本校実習製品の品質改善と安定生産」 ・本校実習製品をどのように品質改善したのかまとめる。 ・安定生産に向けてどのような作業体系や機械で実施したらよいのかまとめる。 ・製造機械の操作方法と整備に関して理解する。	【関】本校の実習製品の改善点について探究した結果をまとめることができる。 【知】主な製造用の機械や装置の操作と整備に関する知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】課題点検 【知】小テスト
		○羊肉の加工 羊肉ウィンナーソーセージ製造	【関】食品製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【表】食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】食品製造に関する基礎的な技術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している 【知】食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】活動評価 【表】活動評価 実習記録簿 【技】課題評価 【知】定期考査 実習記録簿
12	10	○作業体系 安全で高品質な食品をつくるための要点を理解する よりよい作業方法をめざした国際的な動向を知る	【表】食品産業に関する国際規格や環境問題を理解し思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	【表】レポート 【知】定期考査
		○鶏肉の加工 スモークチキン製造	【関】食品製造について興味・関心をもち、生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することについて探究しようとしている。 【表】食品製造に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】食品製造に関する基礎的な技術を身に付け、食品製造に関する学習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している 【知】食品製造に関する基礎的な知識を身に付け、その方法を理解している。	【関】活動評価 【表】活動評価 実習記録簿 【技】活動評価 【知】定期考査 実習記録簿
1				

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	食品化学	3	必修（食品科学コース）	3	石 田 香 蓮

使用教科書	食品化学（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の成分と栄養価値の利用に必要な資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	1 食品化学について体系的・系統的に理解し関連する技術を身につけることができる。 2 食品化学に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身につけることができる。 3 食品の成分や栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。
学 習 の 留意点	1 食品製造実習では担当教員の説明をしっかりと聞き積極的に取り組むこと。 2 食品製造と食品化学との関連を常に意識し、何故その作業を行うのかを考え実習に臨むこと。 3 身近な食品を科学的視点でとらえられるよう意識して食品に接すること。 ★持ち物 教科書、白衣、ノート、筆記用具
評価規準	【関心・意欲・態度】 食品化学に興味関心が高く、自ら課題を設定し主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけようとしている。 【思考力・判断力・表現力等】 各種分析方法や食品製造工程に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、表現する創造的な能力を身につけている。 【技能】 食品製造原料の品質と変化に適した製造方法を選択することができる。 【知識・理解】 食品化学に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、食品化学の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 思：思考力・判断力・表現力等 技：技能 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	9	オリエンテーション 食品衛生活動	【関】食品化学に興味関心をもち、自ら課題を設定し主体的に取り組もうとしている。 【思】食品衛生活動に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を表現する創造的な能力を身につけている。	【関】活動観察 発問評価 【思】活動観察 実習記録簿

			【技】食品衛生活動の基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、適切に衛生活動に取り組んでいる。 【知】食品化学に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、食品化学の意義や役割を理解している。	【技】活動観察 【知】課題評価
5	12	食品の成分 ・食品の成分の分類と機能 ・水分 ・タンパク質	【関】食品成分に興味関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 【思】食品成分に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、実験等を通して表現する能力を身につけている。 【技】諸資料から有用な情報を適切に選択し、成分の特徴を理解するために効果的に活用している。 【知】食品成分を分類し、その特徴を理解することができる。	【関】活動観察 発問評価 【思】活動観察 実習記録簿 定期考査 【技】実習 ノート 定期考査 【知】小テスト 定期考査
6	9	食品の成分 ・脂質 ・炭水化物 ・無機質、ビタミン、微量成分 ・まとめ	【関】食品成分に興味関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 【思】食品成分に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、実験等を通して表現する能力を身につけている。 【技】諸資料から有用な情報を適切に選択し、成分の特徴を理解するために効果的に活用している。 【知】食品成分を分類し、その特徴を理解することができる。	【関】活動観察 発問評価 【思】活動観察 実習記録簿 定期考査 【技】実習 ノート 定期考査 【知】小テスト 定期考査
7	9	食品の栄養とその評価 ・食品成分の消化と吸収 ・おもな栄養素の代謝	【関】食品の栄養に興味関心をもち、自ら課題を設定し主体的に取り組もうとしている。 【思】食品の栄養に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、表現する創造的な能力を身につけている。 【技】食品の栄養における食品製造現場での事例等を通じて有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 【知】食品の消化と吸収に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、	【関】活動観察 発問評価 【思】要約発表 ノート 【技】実習 ノート 定期考査 【知】定期考査 課題評価

			食品化学の意義や役割を理解している。	
8	9	食品衛生対策に向けたまとめ ・食品衛生責任者講習会	【関】安全で衛生的な食品製造を目指して自ら学び、積極的に衛生管理に取り組むことができる。 【思】食品衛生の現状から食品衛生に関する課題を発見し周囲と協力しながら主体的に課題解決に取り組むことができる。 【技】食品に携わる者として、食品製造時に適切な態度と技能を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知】食品衛生責任者についての意義や役割を理解している。	【関】活動観察 【思】活動観察 【技】活動観察 【知】定期考査
9	12	前期のまとめ、食品の成分分析 ・前期のまとめ ・食品成分分析の意義 ・試料の採取・調製・保存 ・成分分析の実際	【関】食品の成分分析に興味関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 【思】食品の成分分析に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、表現する創造的な能力を身につけている。 【技】食品の成分分析ができる。 【知】食品の成分分析に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、食品化学の意義や役割を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【思】ノート 【技】活動観察 【知】小テスト 定期考査
10	9	食品の衛生検査 ・食品衛生管理の意義 ・異物とは	【関】食品の衛生管理の意義に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 【思】食品の衛生管理に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、表現する創造的な能力を身につけている。 【技】食品中に異物混入が発生しないよう防止策を考えることができる。 【知】食品の衛生管理に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、食品化学の意義や役割を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【思】活動観察 ワークシート 【技】ワークシート 課題評価 【知】定期考査

11	9	食品の衛生検査 ・細菌の検査 ・水質の検査 ・農薬	【関】食品の衛生管理の意義に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 【思】食品の衛生管理に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、表現する創造的な能力を身につけている。 【技】細菌の検査を行うことができる。 【知】食品の衛生管理に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、食品化学の意義や役割を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【思】活動観察 ワークシート 【技】ワークシート 課題評価 【知】定期考査
12 ・ 1	9	食品分析の実践、後期のまとめ ・食品分析の意義	【関】食品化学に興味関心をもち、自ら課題を設定し主体的に取り組もうとしている。 【思】食品化学に関して課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、実験での表現する創造的な能力を身につけている。 【技】現代の食品化学に関する諸資料を通じて有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。 【知】食品化学に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、食品化学の意義や役割を理解している。	【関】活動観察 発問評価 【思】ワークシート 【技】新聞等の 読み取り 実習 【知】定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	微生物利用	3	必修(食品科学コース)	2	片 山 幹 洋

使用教科書	微生物利用(実教出版)
使用副教材	なし
科目の目標	食品に関連する微生物の利用と培養に必要な知識と技術を習得させ、微生物の特性を理解させるとともに、農業の各分野で微生物を利用する能力と態度を育てる。
学 習 の 到達目標	1 微生物利用の状況、微生物の役割及び食品と微生物の関係について理解することができる。 2 観察・実験を通して、微生物の形態的特徴と生理的特性を具体的に理解することができる。 3 実習・実験を通して、分離・培養に必要な知識と技術を習得することができる。 4 微生物による環境保全について理解することができる。
学 習 の 留意点	1 実習後はレポート用紙を記入し提出すること。 2 授業の冒頭で必ず授業の目的を話すので、聞き逃さないようにすること。
評価規準 及 び 評価配分	【関心・意欲・態度】 微生物利用について興味・関心を持ち、微生物の利用法や特性について探究しようとしている。 【思考・判断・表現】 微生物利用に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【技能】 微生物利用に関する、基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 【知識・理解】 微生物利用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、微生物利用の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：課題解決の能力 技：製造技術 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	4	○酵素生産かびの分離と培養 プロジェクトテーマ 「純粋分離と培養方法を身に付ける」	【技】かびの純粋分離と栽培方法に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	行動観察
5	8	○酵素生産かびの分離と培養 プロジェクトテーマ 「純粋分離と培養方法を身に付ける」	【表】分離その過程や結果を適切に表現している。	レポート
6	8	○酵母の分離と培養 プロジェクトテーマ 「酵母の分離と培養方法を身に付ける」	【関】アルコール発酵に興味・関心をもち、微生物の利用法や特性について探究しようとしている。 【知】アルコール発酵に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、微生物利用の意義や役割を理解している。	課題点検 小テスト
7	6	○酵母の分離と培養 プロジェクトテーマ 「酵母の分離と培養方法を身に付ける」	【技】酵母の同定の目的と方法、分離・同定に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	行動観察
8	2	○細菌の分離と培養 プロジェクトテーマ 「細菌の分離と培養方法を身に付ける（納豆菌）」	【関】納豆菌の形態的特徴と生理的特性を観察し、純粋分離と培養方法に興味・関心をもち、微生物の利用法や特性について探究しようとしている。 【知】納豆菌の形態的特徴と生理的特性を観察し、純粋分離と培養方法に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、微生物利用の意義や役割を理解している。	課題点検 小テスト
9	6	○細菌の分離と培養 プロジェクトテーマ 「細菌の分離と培養方法を身に付ける（納豆菌）」	【関】納豆菌の形態的特徴と生理的特性を観察し、純粋分離と培養方法に興味・関心をもち、微生物の利用法や特性について探究しようとしている。 【知】納豆菌の形態的特徴と生理的特性を観察し、純粋分離と培養方法に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、微生物利用の意義や役割を理解している。	
10	8	○乳酸菌の分離と培養 プロジェクトテーマ 「細菌の分離と培養方法を身に付ける（乳酸菌）」	【表】乳酸菌の形態的特徴と生理的特性を観察し、純粋分離と培養方法に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト 定期考査
11	8	○食品衛生検査 プロジェクトテーマ 「衛生検査対象細菌の特性を知り衛生検査技術を身に付ける（大腸菌群）」	【技】大腸菌群、検査の目的、方法を理解し、基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用している。	課題研究
12	8	○食品衛生検査 プロジェクトテーマ 「衛生検査対象細菌の特性を知り衛生検査技術を身に付ける」	【表】衛生検査に関する知識の習得について興味・関心をもち、微生物の利用法や特性について探究しようとしている。 【知】微生物改良に関する知識の習得、有用な物質生産への微生物の利用と応用、基礎的・基本的な知識を身に付け、微生物利用の意義や役割を理解している。	行動観察
1	4	○微生物によるバイオマスの有効利用 プロジェクトテーマ 「微生物の活用について理解する」	【表】バイオマスとその利用システムに関する知識の習得、エネルギー生産への利用と応用について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	レポート 定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	農業経営	3	必修	2	滝澤 ジェス・片山 幹洋

使用教科書	農業経営（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す
学 習 の 到達目標	1 農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。 3 農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
学 習 の 留意点	1 農業を取り巻く社会経済環境を踏まえ、農業経営の現状や今日的な課題の解決を考察すること。 2 農業に関わるグローバルなニュースに関心を持ち、日本の農業情勢を具体的な数字で理解すること。 3 起業家としてのノウハウやマインドを学びながらでチャレンジ精神や情報収集・分析力、リーダーシップ等の力を身につけること。
評価規準	【関心・意欲・態度】 農業経営の設計管理やマーケティングについて興味・関心をもち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決するための実践的な態度を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業経営の設計管理やマーケティングに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。 【技能】 農業経営の設計管理やマーケティングに関する基礎的な技術を身に付け、設計管理やマーケティングに関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 【知識・理解】 農業経営の設計管理やマーケティングに関する基礎的な知識を身に付け、農業経営の設計とコスト管理やマーケティングの重要性を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	10	農業の動向と農業経営 ○日本と世界の農業 ○農業経営と食料供給の関係性 ○農業・農村と食料・環境	【関】新たなサービスについて、主体的・協働的に伝えようとしている。 【表】食料消費支出のグラフを読み取り、日本の食料消費支出の特徴を踏まえて、新たなサービスを考えられている。 【技】グラフを読み取る力を身に付けている。 【知】食生活の変化や食に対する消費者の意識を理解している。	【関】活動観察、グループワーク 【表】ワークシート 【技】ワークシート 【知】単元テスト
5	8	農業経営の目標と生産要素 ○農業の主体と目標	【関】利益の上げ方について、主体的・協働的に伝えようとしている。 【表】農業所得を計算し、利益をあげる方法について考えられている。 【技】問題文をみて農業所得を求める力を身に付けている。 【知】収益の意味について理解している。	【関】活動観察、グループワーク 【表】ワークシート 【技】ワークシート 【知】単元テスト
6	9	農業経営の組織運営 ○経営組織 ○農業生産の要素	【関】農用地の正しい利用の仕方について、主体的・協働的に伝えようとしている。 【表】耕作放棄地の活用方法の事例を参考に、農用地の正しい利用の仕方について考えられる。 【技】農用地の利用方法について考える力を身に付けている。 【知】経営の種類や農用地の大切さについて理解している。	【関】活動観察、グループワーク 【表】ワークシート 【技】ワークシート 【知】単元テスト
7 8	8	農業経営と情報 ○農業経営における情報収集の方法	【関】固定資本の利用率を高める方法について主体的・協働的に伝えようとしている。 【表】日常生活や農業における固定資本と流動資本を定義に基づいて区別している。 【技】自ら情報収集する力を身に付けている。 【知】農業資本の特性や特徴について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】単元テスト
9	6	起業にかかる情報のインプット ○ブレインストーミング ○先行事例調査の実施 ○ビジネスアイデアの実現性と魅力の高め方	【関】ビジネスアイデアを魅力的なものに改善しようとしている。 【表】ビジネスになりそうなアイデアを考え、表現している。 【技】先行事例について調べる力を身に付けている。	【関】ワークシート 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】活動観察、グループワーク

			【知】先行事例を調べ、既存の製品・サービスのアイデアについて理解している。	
9 10	8	ビジネスアイデアの立案・改善 ○ペルソナの作成 ○ビジネスモデルの作成 ○プロトタイプの実施と結果の評価	【関】インタビュー結果をまとめ、それを利用したアイデアの改善をしようとしている。 【表】ビジネスアイデアの要点を抜き出し、プロトタイプとして表現する。 【技】それを作成する技能を身に付けている。 【知】ビジネスアイデアについて理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】ワークシート 【知】活動観察、グループワーク
10	7	ビジネスモデルのプレゼン中間発表 ○プレゼンの意義 ○プレゼン資料の作成 ○インタビューの実践	【関】自らのアイデアの価値を伝えようとしている。 【表】自らのアイデアを分かりやすく表現している。 【技】聞き手にわかりやすい発表資料を作成する力を身に付けている。 【知】基礎的なプレゼンテーション資料作成技術について理解する。	【関】ワークシート 【表】プレゼン 【技】プレゼン 【知】活動観察、グループワーク
11 12	6	収支計画 ○競合調査の方法・利用最大数の調べ方 ○ビジネスモデルの復習 ○収支計画の作り方	【関】起業に関する知識と理解を深めようとしている。 【表】収支計画を作成し、表現している。 【技】競合相手について調べる活動を通じて、自らのアイデアの利用者の最大数を計算できる技術を身に付けている。 【知】商圏について理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】ワークシート 【知】活動観察、グループワーク
12 1	8	ビジネスモデル最終発表	【関】自らのアイデアの価値を伝えようとしている。 【表】ビジネスアイデアの共感が得られるように表現する。 【技】プレゼン資料を作成する技術を身に付けている。 【知】伝わるプレゼンについて理解している。	【関】ワークシート 【表】プレゼン 【技】プレゼン 【知】活動観察、グループワーク

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	畜産基礎	3	必修（生産科学コース）	3	宮 川 拓

使用教科書	畜産（実教出版）
使用副教材	めん羊・山羊技術ハンドブック
科目の目標	遠別町のめん羊や畜産について理解を深め、家畜の飼育と畜産経営に必要な知識と技術を、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して習得させ、家畜の特性や合理的な飼育管理を理解させるとともに、地域課題の解決を図る能力と態度を育てる。
学 習 の 到 達 目 標	1 めん羊の繁殖・哺育管理を理解する。 2 めん羊の飼養管理技術を向上させる。 3 乳牛の各部位の名称と優秀な乳牛の特徴を理解する。 4 粗飼料の栽培管理及びサイレージの特性と生産過程を理解する。 5 乳牛の生理・生態的な特徴を学び、飼育管理・環境と、生産性向上との関係を理解する。 6 ニワトリ、ブタの生理・生態的な特徴を学び、合理的な飼育管理・環境を理解する。 7 課外活動を通して主体的に学ぶ力を身につける。
学 習 の 留 意 点	1 めん羊の管理実習では、怪我をしないよう常にめん羊の行動に注意し安全に実習をおこないます。 2 畜産に関わるニュースに関心を持ち、日本の畜産情勢を数字で把握できる数字力を身につける。
評 価 規 準	【関心・意欲・態度】 めん羊・乳牛の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へ繋がるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	【思考・判断・表現】 めん羊・乳牛の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として課題を自ら考えて判断し、合理的かつ創造的に解決できている。
	【技能】 めん羊・乳牛の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	【知識・理解】 めん羊・乳牛の飼育と畜産経営について体系的・系統的な知識を身に付け、畜産の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：思考・判断・表現 技：技能 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	9	酪農 ○乳牛の特性 ○乳牛の飼養管理 ○畜産の衛生について	【関】乳牛の習性や生理、生態について興味・関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。 【表】乳牛のからだの特徴について説明できる。 【技】実習を行う際に衛生を意識し、準備ができています。用具の手入れができています。 【知】飼料作物の基本的な生育特性や栄養価を理解している。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
4	10	めん羊の駆除プログラム ○BCS ○貧血スコアの見方 ○糞便検査	【関】めん羊を安全に保定し、積極的に自習へ参加している。 【表】BCSや貧血スコアの結果をみて、羊の健康状態を説明することができる。 【技】BCSや糞便検査、貧血スコアを正確に測定している。 【知】線虫の駆虫プログラムを理解できている。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】定期考査
5	10	消化吸收機能及び飼料生産 ○ルーメンの発達 ○ルーメン微生物と微生物タンパク質	【関】めん羊に負担かけず、ルーメン液を安全に取り出そうとしている。 【表】消化器官と消化の相互関係を適切に説明できている。 【技】正しく顕微鏡を利用できている。 【知】家畜の消化器官と消化の過程を正しく理解している。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】ワークシート、定期考査
5	10	家畜と飼料 ○家畜の栄養と栄養素 ○飼料とその成分 ○飼料計算の基礎 ○飼養標準 ○飼料成分表 ○サイレージの特性と生産過程	【関】家畜の飼料について関心をもって積極的に取り組んでいる。 【表】飼料計算を基に適切な飼料計算方法を判断することができている。 【技】サイレージの調製方法を踏まえて、実習が行えている。 【知】各種栄養素とその機能と代謝について理解できている。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】ワークシート、定期考査
6	9	めん羊の飼養管理技術 ○BCS ○家畜の排泄とその処理法	【関】堆肥の水分や温度を測定して科学的に堆肥化に取り組んでいる。 【表】堆肥の水分量や温度をみて、堆肥化するうえで適切な環境になっているか判断することができる。 【技】ストレスを最小限抑えた保定技術を行えている。 【知】堆肥の発酵原理を理解できている。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
6	9	優秀な乳牛の見分け方 ○乳牛の体型と部位の名称 ○乳牛の理想体型について	【関】乳牛の理想体型について興味関心をもって積極的に取り組めたか。 【表】乳牛の部位に関する見方を習得し、合理的に部位ごとの優劣を比較・判断することができている。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート

			【技】乳牛の理想体型を目指した飼養・管理をするための方法を習得できている。 【知】乳牛の基本的な体型を学習し、各部の名称を体型審査基準に沿って相互に関連づけて理解できている。	
7	8	繁殖羊の飼料設計 ○繁殖ステージ	【関】めん羊の繁殖ステージについて関心をもって積極的に取り組んでいる。 【表】繁殖ステージとはなにか説明することができる。 【技】繁殖ステージ合わせた飼料設計ができている。 【知】繁殖めん羊の栄養管理に関する知識を理解できている。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
8 9	12	消化吸収機能及び飼料生産 ○ルーメンの発達 ○ルーメン微生物と微生物タンパク質	【関】乾草の生産上の課題を認識し、農業機械を使用した乾草収穫において積極的に取り組むことができている。 【表】乾草の種類とその特徴について説明することができる。 【技】乾草の種類の特徴を踏まえた飼料設計を行えている。 【知】乾草の種類や特徴について理解している。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】ワークシート、定期考査
10 11	9	乳牛の生態と飼育管理・環境 ○乳牛の歴史 ○乳牛の品種 ○家畜育種と形質 ○家畜改良の重要性	【関】乳牛の歴史と品種に関心を持って積極的に取り組めたか。 【表】乳牛の合理的な飼育環境を適切に比較し判断できている。 【技】基礎的な飼育方法に関する技術を身につけている。 【知】乳牛の適切な管理方法について理解できている。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】ワークシート、定期考査
12	10	乳牛の繁殖について ○生殖器の構造と働き ○人工授精 ○分娩	【関】乳牛の生殖器の構造について興味・関心を持ち、その知識を身に付けようとしている。 【表】人工授精について正しい判断をしている。 【技】乳牛の子宮の構造を理解し、分析する技術を身に付けている。 【知】乳牛の繁殖について基本的な知識を身に付けている。	【関】活動観察 【表】ワークシート 【技】活動観察 【知】ワークシート
1 2	9	ニワトリ、ブタの生態 ○中小家畜の歴史 ○中小家畜の品種	【関】中小家畜の歴史と品種に関心を持って積極的に取り組めたか。 【表】合理的な飼育環境を適切に比較し判断できているか。 【技】中小家畜の基礎的な飼育方法に関する技術を身に付けている。 【知】中小家畜の基礎的な飼育方法に関する知識を理解できている。	【関】活動観察、定期考査 【表】ワークシート、定期考査 【技】活動観察 【知】ワークシート、定期考査

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
農業	商品開発	3	必修(食品科学コース)	2	片 山 幹 洋

使用教科書	食品製造（実教出版）
使用副教材	なし
科目の目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、地域の一次産業の現状を理解するとともに、地域を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
学 習 の 到達目標	1 商品開発に関する考えや意見をまとめ他の人に伝えることができる。 2 農産物の特徴について理解し、特徴を活かした商品を開発することができる。 3 周囲の生徒と協力しながら新しい商品を開発することができる。
学 習 の 留意点	1 商品開発に関する記録をファイリングし蓄積すること。 2 商品開発に関する課題意識を持ち周囲と意見交換しながら協力して実習すること。 3 商品に関する課題を設定し、食品開発をとおして解決することができること。
評 価 規 準 及 び 評 価 配 分	【関心・意欲・態度】 地域産業に対し、課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、解決方法を模索する実践的な態度を身に付けている。
	【思考・判断・表現】 原料の特性や製造環境から適切な手法で製造し、地域の風土や気候、産業に合う製品を考え、表現する創造的な能力を身に付けている。
	【技能】 製造方法とその特性に関する知識を持ち、課題に向けて適切な手法を活用し解決しようとする態度を身に付けている。
	【知識・理解】 地域の産業について理解し、食品製造に関する基礎的・基本的な技術・知識を身に付け商品開発の意義や役割を理解している。

年間学習計画

評価の観点（関：関心・意欲・態度 表：課題解決の能力 技：製造技術 知：知識・理解）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4	2	オリエンテーション	【関】食品製造の基礎的基本的な技術と知識を身に付けている。	【関】記述確認
5	8	羊肉レトルトカレーの大量生産に向けて	【表】羊肉レトルトカレーの製造方法を身に付け大量生産に向けて検証し実践することができる。	【表】記述確認
6	10	羊肉レトルトカレーの改善と安定化	【表】羊肉の特性を活かす香辛料の組み合わせを考え、改善において検証することができる。 【技】羊肉カレーの原料と香辛料配合を検証し羊肉に最も適した配合を決定することができる。	【表】レポート 【技】行動観察
7	6	羊肉レトルトカレーの改善と安定化②	【表】開発した羊肉カレーをレトルト処理し、製品の性状を検証し課題を明確にすることができる。 【技】レトルトカレーのラベルを考案することができる。	【表】行動観察 【技】ラベル
8	6	羊肉レトルトカレーの改善と安定化③	【関】レトルトカレーの課題点を改善し包装まで実践することができる。 【技】レトルトカレーを安定的に生産することができる技術を身に付けている。	【表】記述確認 【関】行動観察
9	10	羊肉レトルトカレーの安定生産を実現する。	【関】自分の役割を自覚し、レトルトカレーを周囲と協力しながら生産することができる。 【表】安定した生産において丁寧に実習することができる。	【関】行動観察 【表】レポート
10	8	漬け物の製造と開発 ニシン漬けを漬ける	【表】原料の特性を判断し記録することができる。 【知】近隣の一次産業について理解し、知識を身に付け、その技術を適切に活用することができる。	【表】レポート 【知】行動観察
11	8	漬け物の製造と開発② 北海道の漬け物を調べて漬ける	【表】原料の違いで味や香りを確認し、原料に適した製造方法を実践することができる。	【表】レポート
12	8	地域特産物の開発（ルルロッソを活用した食パンの安定生産）	【関】ルルロッソ食パンを効率的に安定生産するためにどのような手立てがあるか班員で相談し決定することができる。 【表】ルルロッソを使用した食パンを安定供給し、班員や他の生徒から意見を貰い課題点を明確にすることができる。	【関】行動観察 【表】レポート
1	4	地域特産品の流通	【技】地域産業に対し、課題意識を持ち解決に向けた方策を情報収集や周囲との話し合い、実践することができる	【関】行動観察

教科名	科目名	学年	履修形態	単位数	担当者
探究	総合的な探究の時間	3	必修	2	全教員

使用教科書	なし
使用副教材	なし
科目の目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
学 習 の 到達目標	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
学 習 の 留意点	1 毎時間記録を残し、ファイルにまとめておくこと。 2 担当の先生と報告・連絡・相談・確認を密に行うこと。
評価規準	【知識・技能】 課題の解決に必要なデータ収集や知識から論理的思考を育成し、課題解決に向けて地域社会との協働やSDGsを理解し主体的に実践できる。 【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身の関わりから課題を見だし、その解決に向けて仮説を立て、試行錯誤しながら粘り強く実践することができる力や、まとめ・表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己の興味・関心に基づく探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、積極的にコミュニケーションしながら、地域貢献や地域創造しようとしている。

年間学習計画

評価の観点（知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度）

月	時 数	単元・学習内容	評価規準	評価方法
4 5	10	課題の設定	【知】自己の興味・関心に基づき、課題を設定している。 【思】地域や社会の人、もの、ことと自分自身の関わりから問いを見いだしている。 【態】自己の興味・関心と向き合い、主体的に問いを見だし課題を設定している。	【知】ワークシートへの記述、プレゼンテーション 【思】ワークシートへの記述、プレゼンテーション 【態】活動の観察、ワークシートへの記述、プレゼンテーション
5 6 7 8	26	情報収集	【知】課題を解決するための様々な情報収集の方法やその目的を理解している。 【思】課題の解決に向けて仮説を立てたり、目的に応じた手段で情報収集している。 【態】課題を解決するために必要な情報を主体的・協働的に集めている。	【知】活動の観察、ワークシートへの記述 【思】活動の観察、ワークシートへの記述 【態】活動の観察、ワークシートへの記述
9 10	14	整理・分析	【知】データの整理・分析方法について理解している。 【思】課題の解決に向けて、最適な方法を選択しながら集めたデータを整理・分析している。 【態】正確な結論に向けて、より誠実に、あきらめずに繰り返し自分の探究課題に向き合っている。	【知】活動の観察、ワークシートへの記述 【思】活動の観察、ワークシートへの記述 【態】活動の観察、ワークシートへの記述
11 12	18	まとめ・表現	【知】探究活動を通して地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付いている。 【思】探究活動によって得られた調査結果を、データの質や伝えたい内容や方法を踏まえて表現している。 【態】発表を通して、多様な意見や他社の考えを受け入れようとしている。	【知】ワークシートへの記述、発表 【思】発表 【態】ワークシートへの記述
1	2	振り返り	【知】探究活動を振り返り、地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付いている。 【態】探究活動を振り返り、自分なりに考え、社会に貢献しようとしている。	【知】ワークシートへの記述 【態】ワークシートへの記述